

人気AV女優11人が超高級ソープ嬢に!

完熟ジャズ歌手超過激SEX アラーキー「人妻エロス」

美人バーテンダー 脱いだ! 全裸秘カクテル



元日テレアナの衝撃セーラー服!

8/10

特別定価 400円



3大美熟女「納涼ヘアヌード」

# 大衆

男性陣にイカせ技伝授! 経験豊富な熟女たちの「SEX指南

## 加藤綾子「フジ退社」の黒幕

続報スクープ



酷暑でも快眠

戦後70周年新連載 こんなに強かつた日本童

眠りの秘密 20

美女トーク  
水崎綾女  
男の下着姿に…

中国とは手打ち済みも怖い怖い安保の影響  
8・12発表 安倍談話中身

綾瀬はるか巨乳 プカプカシーン

野村vs張本 静かに長老バトル

ハーフ美女ローラの本命彼氏を目撃  
連載 昭和の過激なプロレス舞台裏

好き&嫌いな女子アナ

首都圏フーゾク壊滅危機全情報

“生ガキ発言”森喜朗は死なず!

山口組 キヤバクラ放火1億円和解

豪層

# 読めば快眠必至！

“酷暑の寝苦しさ”は  
これにて解消



あなたの枕は大丈夫？

梅雨明けと同時に、うだるような酷暑に襲われている日本列島。夜間の最低気温が25度を下回ることのない熱帯夜が増え、深夜でも寝苦しい日が続く季節となつた。

だが、睡眠は生きるために絶対に必要な行為。

そのため、睡眠時間が短ければ、老化やガンの原因となつたり、空腹時にそのまま寝ると危険な状態に陥る可能性があるのだ。それを防ぐためにも、睡眠のメカニズムについて正確な知識を持ち、正しい睡眠を取らなければいけない。

逆に、正しい睡眠を取ることができれば、朝からスッキリして、今日も一日頑張れる。

それは人間も同じ。狩猟や農耕ができない夜に、体と脳を休める必要があり、本来、夜になると、体内時計が働いて眠るようにできているんです」

その体内時計を司るのが、左右の大脳の間にある松果体。周囲が暗くなると、そこからメラトニンという睡

人生の約4分の1を夢の中に過ごすのに、意外と知らない仕組み。心地よい時間を送るために知つておきたい！

張ろうと、気力が充実する。知つているようで知らない睡眠に関して改めて学ぶべく、酷暑の寝苦しさを解消するための安眠テクを徹底取材！ これさえ読めば快眠を得ること間違いなしの「睡眠の秘密」を、お届けしよう。

そもそも、人はなぜ、眠るのだろうか？ まずは、その点を眞田クリニックの眞田祥一院長（脳神経外科学会認定医）に解説してもらつた。

「たいていの高等動物は餌が捕れない間、夜行性なら昼夜、それ以外は夜に、一日のエネルギー不足を補うために眠る仕組みになつています。

が捕れない間、夜行性なら昼夜、それ以外は夜に、一日のエネルギー不足を補うために眠る仕組みになつています。

# 夏の安眠テク



寝る前のパソコンやスマホは……

「したがって、夜遅くまで明かりをつけてゲームやパソコンをやっていると、体内時計は寝る時間を指しているのに、メラトニンが分泌されず、眠ることができません。こうして昼夜逆転の生活が不眠を引き起こす原因となります」

睡眠には大きく分けて「レム睡眠」と「ノンレム睡眠」の2種類がある。

眼球が動くことから、そう呼ばれる（レムとは急速眼球運動の略）レム睡眠というのは、体は眠っているものの、脳が活動している状態。レム睡眠のときに夢

眼ホルモンの分泌が増え、眠気を催すのだ。

くどうちあき脳神経外科クリニックの工藤千秋院長

が、次のように付け足す。

# 眠りの秘密 20

を見るのは、そのためだ。

一方、急速眼球運動が伴わず、脳が眠っている状態を「ノンレム睡眠」という。

たとえば、電車の中で車掌に振り起こされるまで起きないようなケースが、深

いノンレム睡眠状態にある。深い眠りから起こされると、なかなか目覚められず、頭がボーッとするが、このノンレム睡眠こそが健康な体作りの基本だ。

「睡眠には前半と後半の二つのパートがあり、まず前半はノンレム睡眠が長く、このとき成長ホルモンが大量に分泌されます。成長ホルモンは細胞をリニューアルしてくれます。

したがって、前半の3時間、理想をいうと、午後11時から午前2時までの時間帯に深い眠りを取ることが重要です」

こう説明するのは、「『睡眠第一！』ですべてうまくいく」（双葉社）の著者で、文教大学教育学部教授の成田奈緒子氏（医学博士）だ。

間の深い眠りを怠つてしまふと、細胞がリニューアルされず、免疫力が落ちて老化を早め、寿命が短くなる懸念があるという。成田教授が続ける。

「それだけではありません。細胞を作り替える体の機構に狂いが生じ、ガンになりやすくなるんです」

では、後半の理想的な睡眠とは、どのようなものか。

「後半は、REM睡眠とノンREM睡眠を4回くらい繰り返して覚醒に至ります。そのREM睡眠時には脳の中で前日の記憶の整理が始まります。つまり、前日に行つた仕事の内容を脳が整理整頓し、起きたらすぐ使えるように準備してくれているんですね。そうすれば、仕事の効率がよくなります。逆にREM睡眠を後半で3回は取らないと、仕事の効率が低下し、性格もネガティブなものになりかねません」(成田教授)

REM睡眠を3回確保するには最低3時間。前半の3時間に、入眠時間(30分)、

覚醒時間(30分)を合わせると、合計7時間の睡眠時間が必要なのだ。

また、昔から「朝起きは三文の得」といわれるが、それは、科学的にも証明されている。「メラトニンとは逆に、朝

## 睡眠前の誤った習慣に注意!

健康のために、7時間の睡眠と早起きを確保すること

が大事なのは分かったが、

誤った睡眠法がまかり通つているのも事実。たとえば寝酒がそうだろう。

「個人差はありますが、深酒すると、寝つきはよくても、夜中に目が覚めてしまいますが」(成田教授)

睡眠前には適度な運動による疲労がいいといわれているが、寝る直前にジョギングしたり、フィットネスクラブに行つたりすると、交感神経が刺激されて、逆に眼が閉まなくなる。

それは入浴も同じこと。熱いお湯につかると、やはり交感神経が刺激された、逆

起きて光を浴びると、体内からはセロトニンというホルモンが分泌されます。このホルモンには不安を抑え、ヤル気を起こさせる役割があり、毎朝5~7時に起きると、十分なホルモンが分泌されます」(成田教授)

起きて光を浴びると、体内

からはセロトニンというホルモンが分泌されます。こ

のホルモンには不安を抑え、ヤル気を起こさせる役割があ

り、毎朝5~7時に起きると、十分なホルモンが分

泌されます」(成田教授)

## 睡眠と熱中症

総務省の発表によると、7月13~19日の1週間で、

14人が死亡——熱中症は、炎天下のもとで起ると考

えられるがちだが、実は、昼

寝をしている室内で発症す

るケースが多いという。

「睡眠中には冬場でも最低、

400~600ミリの水分

が失われます。これは、睡

眠中の発汗作用によるもの

です」(眞田院長)

冬場でそうなのだから、

400~600ミリの水分

が失われます。これは、睡

眠中の発汗作用によるもの

です」(眞田院長)

冬場でそうなのだから、

400~600ミリの水分

が失われます。これは、睡

眠中の発汗作用によるもの

です」(眞田院長)

冬場でそうなのだから、

400~600ミリの水分

が失われます。これは、睡

眠中の発汗作用によるもの

です」(眞田院長)

35度を超える猛暑ともなると、気温と睡眠のダブルで

大量的の水分が失われる。

「気温30度の真夏日の場合、3ミリの水を飲む必要があり、

1ミリは食事から摂取したと

しても、2ミリが不足してい

ます。したがって、寝るす

る前には必ず水を飲むこと

です」

30分以内の寝は仕事の効率を高めるといわれる。

眠くなったら、水分をた

くさんとてから寝を!

頸椎などを痛める危険があるからだ。成田教授も指摘する。

「ソファで寝るくらいなら、まだ、リビングに座布団を敷いて、その上に寝たほうがましです」

この他にも、誤った睡眠で健康を損ねるケースがある。前出の眞田院長は、こ

う警鐘を鳴らす。

「空腹時には血糖値が下がり、眠くなりますよね。

しかし、お腹に何も入れないで低血糖のまま眠るのは、非常に危険なことだと

言えるでしょう」

最悪の場合、意識がそのまま戻らないこともある。

枕も使い方によっては危険なモノになる。前出の工藤院長が解説する。

「高い枕を後頭部へ浅く入れると、頸が傾き、気道が塞がります。そうなつたら、

## 五感をオフにして快眠ゲット

最後に、工藤院長自身が実践する、どつておきの快眠テクをお伝えしよう。

「快眠の秘訣は、やはり深いノンレム睡眠の時間をどれだけ確保できるかにかかる」

ツチがなかなかオフにならない人も多いのではないか。そんな人たちにしようか。そんな人たちにお薦めしたいのが五感に訴えて、脳をオフに切り替える方法です」

まずは触覚。たとえば、ツから得られる心地良さが

眠りが浅くなるのみならず、脳に酸素がいかななくなつて、朝起きたら、頭痛に襲われることになります。高い枕なら深く入れて、気道を伸ばすこと。とにかく、気道を塞がないようなタイプの枕を選んでください」

今日から実践すべし！

眠りを誘うことが多い  
〔工藤院長〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕